

教育聴覚視

月報

No 22

・発行日

51・3・12

・発行

岡崎市AVL

・編集

広報委員会

へ県自作視聴覚教材コンクール

ビデオ部門で優秀賞を独占!!

ライブラリーは三年連続優秀賞

去る二月二十四日、愛知県教育センターで「昭和五十年、愛知県自作視聴覚教材コンクール発表会」が盛大に行なわれた。県下各地から二三〇名が参加（岡崎市から一名）し、終日入賞作品発表を主体とした研究が熱心にくりひろげられた。

今年度の応募総数は一〇一点で昨年より二三点増であった。その内訳はスライド三七点、コンセプト一八点、八ミリ一七点、ビデオ二九点であり特にビデオ部門の増加がめだっていた。

岡崎市からは、大量五点もの入賞を得た。特に、ビデオ部門では優秀賞三点とも岡崎が独占し注目をあびた。ライブラリーは三年連続優秀賞の栄に輝いたことになる。市内小中学校にVTRが設置され、送られて来る教材の録画にとどまらず、自作教材で児童、生徒の学習に役立

てようとすする積極的なりくみなが、こうした結果をもたらしたものとえよう。応募いただいた作品でおしくも選から外れたものも紙一重の差といったものばかりであったと聞く。先生方のご労苦に感謝すると共に今後、より広い層にわたってとり組みがなされるよう期待してやまない。

入賞作品は次の通りである。

○ビデオの部

・優秀賞 「JOYFUL ENGLISH」
現職教育委員会英語部VTR研究部

・優秀賞 「消防署のはたらき」
視聴覚ライブラリー自作委員会

・優秀賞 「七四八凸」
矢作東小学校

・佳作 「正しく書くために」
矢作南小学校

○コンセプトの部

・佳作 「うで立て水平開脚とび」
矢作中学校 大久保 慎一

愛知県自作視聴覚教材コンクール発表会に
参加して 美川中 加藤 忠彦

受賞をかねて、始めて参加させていただきいろいろ得るところが多かった。その一端を述べるなら、第一に「構成がよく練りあげられているものはすばらしい」ということである。こうした作品は見るものに大きな感銘を与えてくれるものだ。

第二は、「取材するものがよくなければならない」ということである。教材の要点をうまくおさえていなければ、実際の授業に使えない。何度も足を運んで取材し、教材の要点をついているかを絶えず考慮しなければならぬ。その点スライド作品「藤村のふるさと」は他を抜いて輝いていた。第三は「遊びゴマの研究をする」ということである。作品の盛り上りの場面から次の場面に転換する時、捨てゴマをつくることによつて一層効果をあげることもができる。「藤村のふるさと」や八ミリ作品の「紙の綾」は心にくく、しかも芸術的な遊びゴマが設定されていた。第四は「ナレーションの大切さ」である。画面を盛りたてるにはナレーションが大きく影響する。スライド「七宝焼」「日本の古都」はとても聞きやすく清涼飲料水の感さえた。

総括的に「どの作品もやはり学校の先生が作ったものであることがにじみ出ている」というN E K 審査員の講評が印象に残った。

昭和五十一年度「岡崎市放送教育研究大会」は
六月に実施予定

市制六十周年記念行事の一環として実施する「岡崎市放送教育研究大会」は、N E K が集中的に岡崎を取材する時期にあわせて六月末に実施する予定である。この大会で、岡崎の視聴覚教育の指針となるべきものを出したものである。

ライブラリーだより

◎新規購入十六ミリフィルム紹介（社会教育関係）

- ・「親の扶養を考える」カラー 三二分
文部省特選、教育映画祭最優秀作品賞、文部大臣賞をうけたすぐれた作品
- ・「長ぐつ父ちゃん」カラー 四一分
父の愛を感動的に描き出す児童劇映画
- ・「歩行者の交通ルールとマナー」カラー 一八分
事故防止の具体的方法を提示した作品
- ・「パンダちゃんの交通安全」カラー 一四分
全国交通安全協会推薦の交通安全漫画
- ・「ピコはいきている」カラー 一五分
幼児、低学年向けの楽しい交通安全漫画

◎本家正文先生講演要旨の配布

本年度、市放送教育研究大会で講演いただいた、文部省社会教育官、本家正文先生の講演要旨は、すでに視聴覚主任の先生のもとへ配布いたしました。現在残部が多少ありますのでご希望の先生はライブラリーまでお申し出下さい。なお、演題は「情報化社会における放送と教育」です。

◎今年度購入分トラパン

技術・家庭科のトラパン（学年別・男女別）を購入しました。コンセプトフィルムも付いています。せいぜいご利用を。